

# 2026 大東市立諸福小学校 学校経営計画



校長 石橋 佳之

HAPPYもろふく

教育目標

# 向かう

自ら向かう 仲間と向かう 未来に向かう  
自立 共生 創造

目指す学校像  
子どもを主語 子ども主体の学校

理念・子ども観  
子どもは一人一人違う  
すべての子どもは有能な学び手

キーワード

子どもに「委ねる」「揃える」から「伸ばす」へ

付けたい力  
主体性  
当事者意識

## 経営目標と具体的方途

1 自分の学びは自分が創る 「学ぶ」ってたのしい！  
個別最適な学び・自由進度学習 自己調整して学ぶ

- ・自分のペースで、方法で、自らの学びを創る 「静」から「動」へ
- ・一律一斉の宿題から自分で選択・計画 自分に必要な学び
- ・ICTも活用ー金曜日「Qubena」タイム

- 学ぶことはたのしい！ 90%
- 自分で計画を立てて学習できる 80%

2 自分の生活は自分が創る 「社会」は変えられる！  
ルールメイキング・スクールメイキング 自分たちの社会は自分たちが創る

- ・児童主体、自ら動かす児童会活動 教師の操りから脱却
- ・たのしい学校づくり提案 職員会での代表委員提案
- ・学校ルール見直し ルールを題材、話合で納得解

- 学校に行くのがたのしい 88% (R7-82.9 R6-79.8)
- 自分にはよいところがある 90% (R7-86.2 R6-86.3)

3 学校からまちを変える 地域の子ども 「共創」  
地域との「共創」 子どもは地域の「宝」

- ・保護者主体の子ども見守り活動、地域主体の地域活動
- ・公民連携事業を活用した民と学校の連携「70m・アース・キッズ」
- ・小中一貫「もろふく学園」 9か年の学び 校内研乗り入れ

- 地域とともにある学校づくりが進められている 75%
- 小中で一貫した教育が行われている 70%

4 子どもと教師の「余白」創出 「引き算」の改革  
前例主義からの脱却 本質・目的を問う

- ・行事取組時間縮減ー計画、何に何時間 ・ペーパーレス、電子配信
- ・会議・打合の見直しー必要な時に必要な人
- ・放課後の時間確保 4時以降の会議ゼロ 16-16:45 休憩確保

- 時間を意識して業務にあたった 80%
- 放課後の時間にゆとりができた 80%